

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5404385号
(P5404385)

(45) 発行日 平成26年1月29日(2014.1.29)

(24) 登録日 平成25年11月8日(2013.11.8)

(51) Int. Cl.	F I
G06Q 40/04 (2012.01)	G06Q 40/04 100
G06Q 40/02 (2012.01)	G06Q 40/02 180

請求項の数 14 (全 15 頁)

(21) 出願番号	特願2009-503054 (P2009-503054)	(73) 特許権者	512133801
(86) (22) 出願日	平成19年3月29日(2007.3.29)		リアルティック・エルエルシー
(65) 公表番号	特表2009-531786 (P2009-531786A)		アメリカ合衆国・イリノイ・60606・
(43) 公表日	平成21年9月3日(2009.9.3)		シカゴ・サウス・ワッカー・ドライブ・1
(86) 国際出願番号	PCT/US2007/008030		〇〇
(87) 国際公開番号	W02007/123773	(74) 代理人	100108453
(87) 国際公開日	平成19年11月1日(2007.11.1)		弁理士 村山 靖彦
審査請求日	平成21年10月26日(2009.10.26)	(74) 代理人	100064908
(31) 優先権主張番号	60/787, 611		弁理士 志賀 正武
(32) 優先日	平成18年3月29日(2006.3.29)	(74) 代理人	100089037
(33) 優先権主張国	米国 (US)		弁理士 渡邊 隆
		(74) 代理人	100110364
			弁理士 実広 信哉

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 チャートに基づいた注文入力の方法及びシステム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータに、
証券に対する値付け情報から成るチャート表示を表示する手順と、
証券注文の発注を行うためのインタフェース表示を表示する手順と
を実行させ、

前記チャート表示は、前記インタフェース表示へ入力しようとする価格に対応する前記チャート表示上の位置がユーザに選択されることによって、前記インタフェース表示に価格情報を入力する機能を有するように構成され、

前記値付け情報は、前記チャート表示の垂直軸上に表示され、

前記チャート表示は、証券指値注文と、選択されたアカウントの正味持ち高とを表示するようにさらに構成され、

前記指値注文は、該指値注文の価格に対応する垂直位置の水平ライン上に表示され、

前記正味持ち高は、該正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の水平ライン上に表示され、

前記チャート表示上の位置がユーザに選択されることは、前記チャート表示上の位置でマウスがクリックされることであり、

前記チャートの表示は、マウスのクリック状態が保持されることに対応して、詳細な値付け情報を表示し、該詳細な値付け情報を参照しながら、前記インタフェース表示へ入力しようとする価格に対応する前記チャート表示上の位置がユーザに選択されることによ

10

20

て、前記インタフェース表示に価格情報を入力する機能を有するようにさらに構成されることを特徴とするプログラム。

【請求項 2】

前記チャート表示が、表示ツールを有し、

前記表示ツールは、前記チャート表示上の選択された垂直位置に、ユーザによる値付け情報を表示することを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 3】

前記インタフェース表示が、注文の発注を行うためのフィールドを有し、

前記フィールドは、価格フィールドを有し、

前記チャート表示上の前記位置がユーザによって選択されたとき、前記価格フィールドに、前記位置に対応する価格が入力されることを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

10

【請求項 4】

前記チャート及びインタフェース表示が、前記水平ラインの移動によって、ユーザによる指値注文の変更を行う機能を有するように構成されることを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 5】

前記チャート及びインタフェース表示が、マウスカーソルを用いた前記水平ラインの移動によって、ユーザによる指値注文の変更を行う機能を有するように構成されることを特徴とする請求項 4 に記載のプログラム。

20

【請求項 6】

前記指値注文の価格に対応する垂直位置の前記水平ラインの色が、前記正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の水平ラインに用いられる色とは異なることを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 7】

前記指値注文の価格に対応する垂直位置の前記水平ラインが赤色であり、

前記正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の前記水平ラインが緑色であることを特徴とする請求項 6 に記載のプログラム。

【請求項 8】

コンピュータ実行方法であって、

プロセッサにより、証券に対する値付け情報から成るチャート表示上の位置を選択することに応答して、証券注文を発注するためのインタフェース表示に価格情報を入力する段階を有し、

30

前記位置は、前記インタフェース表示に入力しようとする価格に対応し、

前記値付け情報は、前記チャート表示の垂直軸上に表示され、

前記チャート表示は、証券指値注文と、選択されたアカウントの正味持ち高とを表示するように構成され、

前記指値注文は、該指値注文の価格に対応する垂直位置の水平ライン上に表示され、

前記正味持ち高は、該正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の水平ライン上に表示され、

40

前記チャート表示上の位置を選択することは、前記チャート表示上の位置でマウスがクリックされることであり、

証券に対する値付け情報から成るチャート表示上の位置を選択することに応答して、証券注文を発注するためのインタフェース表示に価格情報を入力する段階は、マウスのクリック状態が保持されることに応答して、詳細な値付け情報を表示し、該詳細な値付け情報を参照しながら、証券に対する値付け情報から成るチャート表示上の位置を選択することに応答して、証券注文を発注するためのインタフェース表示に価格情報を入力する段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項 9】

前記チャート表示が、表示ツールを有し、

50

前記表示ツールは、前記チャート表示上の選択された垂直位置に対するユーザによる値付け情報を表示することを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記インタフェース表示が、注文の発注を行うためのフィールドを有し、
前記フィールドは、価格フィールドを有し、

前記チャート表示上の前記位置を選択することによって、前記価格フィールドに前記位置に対応する価格が入力される段階をさらに有することを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記水平ラインを移動させることによって、指値注文を変更する段階をさらに有することを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

10

【請求項 12】

前記水平ラインが、マウスカーソルを用いて移動させられることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記指値注文の価格に対応する垂直位置の前記水平ラインの色が、前記正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の水平ラインに用いられる色とは異なることを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 14】

前記指値注文の価格に対応する垂直位置の前記水平ラインが赤色であり、
前記正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の前記水平ラインが緑色あることを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この出願は、2006年3月29日に提出された米国特許仮出願第60/787,611号の優先権を主張するものである。上記仮出願のすべての内容が、引用によって本明細書に組み込まれる。

【背景技術】

【0002】

TAL社(Townsend Analytics, Ltd.)は、為替を含むマーケットデータソースとブライマリーディーラーとを直接接続する。これらの接続を介して、TAL社は、多様な資産クラスに関するリアルタイムのストリーミング気配値データを受信する。データは、TAL社の技術を用いて、TAL社の気配値サーバファームを経由して処理及び配信される。図1を参照されたい。

30

【0003】

RealTickは、TAL社のグラフィカルユーザインタフェースであって、多様な資産クラスにわたる証券の閲覧、分析、及び取引のために、プロフェッショナル及びリテールトレーダーによって使用されている。RealTickは、インターネット、専用線、又はRadianzなどの金融エクストラネットを介して、TAL社の気配値サーバファームに接続する。トレーダーがティックシンボルに関するデータを要求したとき、RealTickは、サーバファームへリクエストを送信するとともに、当該ユーザのインタフェース上にデータを返して表示する。

40

【0004】

RealTickユーザマニュアルの第1章(Introduction)と、第7章(Placing Orders)の最初の部分とが、背景技術の説明を目的として、引用によって本明細書に組み込まれる。上記ユーザマニュアルは、www.realtick.com/v2_files/rtuserman.pdfで入手可能である。

【0005】

データリクエストがなされ、かつ表示が行われると、トレーダーは、注文を出すことで

50

、そのデータに基づいて行動する。RealTickは、TAL社のサービス事務局へ注文を送信する。サービス事務局は、リスク及びコンプライアンス管理を提供することによって電子取引をサポートするITソリューションと、ミッドトゥバックオフィスソリューションとの総合サービスである。サービス事務局のネットワークは、電子取引、他のブローカー、及びさまざまな注文管理システムへの接続性を提供する。

【0006】

取引システムが注文に対する妥当性検査を実行した後、取引システムは、当該ネットワーク内のTAL社の最終的なソフトウェアコンポーネント、すなわち、取引ハンドラへ注文を送信する。取引ハンドラは、注文を受信するとともに、TAL社の内部プロトコルから取引プロトコルへ注文を変換する。

10

【0007】

取引によって作成された実行レポートは、取引ハンドラを介してサービス事務局へ返されるとともに、最終的には、RealTickへ戻る。RealTickは、元のトレーダーに注文の状態を表示する。

【非特許文献1】"RealTick User Manual", http://www.realtick.com/v2_files/rtuserman.pdf

【発明の開示】

【課題を解決するための手段】

【0008】

本発明の一実施態様は、証券取引に使用するためのグラフィカルユーザインタフェースを提供するソフトウェアを有する。以下の「発明を実施するための最良の形態」で例示されるように、ソフトウェアのユーザは、表示された市況チャート上でクリック又はドラッグを行うことによって、注文の発注又は変更を行うことができる。

20

【0009】

例えば、ユーザがチャートの価格水準をクリックすれば、当該価格が、注文入力画面へ自動的に入力される。以降に記載の「注文の発注」を参照されたい。

【0010】

注文は、例えば、表示された注文をクリック及びドラッグすることによって、所望の価格水準へと変更できる。以降に記載の「注文の変更」を参照されたい。

【0011】

一態様において、本発明は、(a)証券に対する値付け情報から成るチャート表示を表示するソフトウェアと、(b)証券注文の発注を行うためのインタフェース表示を表示するソフトウェアとから成るソフトウェアである。上記チャート表示は、上記インタフェース表示へ入力しようとする価格に対応する上記チャート表示上の位置がユーザに選択されることによって、上記インタフェース表示に価格情報を入力する機能を有するように構成されている。

30

【0012】

いくつかの実施態様において、(1)上記値付け情報は、上記チャート表示の垂直軸上に表示される。(2)上記チャート表示は、証券指値注文を表示するようにさらに構成され、上記指値注文は、該指値注文の価格に対応する垂直位置の水平ライン上に表示される。(3)上記チャート表示は、選択されたアカウントの正味持ち高を表示するようにさらに構成され、上記正味持ち高は、該正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の水平ライン上に表示される。(4)上記チャート表示は、表示ツールを有し、上記表示ツールは、上記チャート表示上の選択された垂直位置に、ユーザによる値付け情報を表示する。(5)上記インタフェース表示は、注文の発注を行うためのフィールドを有し、上記フィールドは、価格フィールドを有し、上記チャート表示上の上記位置がユーザによって選択されたとき、上記価格フィールドに、上記位置に対応する価格が入力される。(6)上記チャート及びインタフェース表示は、上記水平ラインの移動によって、ユーザによる指値注文の変更を行う機能を有するように構成される。(7)上記チャート及びインタフェース表示は、マウスカーソルを用いた上記水平ラインの移動によって、ユーザによる指値注文の

40

50

変更を行う機能を有するように構成される。(8)上記指値注文の価格に対応する垂直位置の上記水平ラインの色は、上記正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の水平ラインに用いられる色とは異なる。(9)上記指値注文の価格に対応する垂直位置の上記水平ラインは赤色であり、かつ上記正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の上記水平ラインは緑色である。

【0013】

別の態様において、本発明は、証券に対する値付け情報から成るチャート表示上の位置を選択することによって、証券注文を発注するためのインタフェース表示に価格情報を入力する段階を有する方法である。上記位置は、上記インタフェース表示に入力しようとする価格に対応する。

10

【0014】

いくつかの実施態様において、(1)上記値付け情報は、上記チャート表示の垂直軸上に表示される。(2)上記チャート表示は、証券指値注文を表示するように構成され、上記指値注文は、該指値注文の価格に対応する垂直位置の水平ライン上に表示される。(3)上記チャート表示は、選択されたアカウントの正味持ち高を表示するように構成され、上記正味持ち高は、該正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の水平ライン上に表示される。(4)上記チャート表示は、表示ツールを有し、上記表示ツールは、上記チャート表示上の選択された垂直位置に対するユーザによる値付け情報を表示する。(5)上記インタフェース表示は、注文の発注を行うためのフィールドを有し、上記フィールドは、価格フィールドを有し、上記チャート表示上の上記位置を選択することによって、上記価格フィールドに上記位置に対応する価格が入力される段階をさらに有する。(6)上記水平ラインを移動させることによって、指値注文を変更する段階をさらに有する。(7)上記水平ラインは、マウスカーソルを用いて移動させられる。(8)上記指値注文の価格に対応する垂直位置の上記水平ラインの色は、上記正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の水平ラインに用いられる色とは異なる。(9)上記指値注文の価格に対応する垂直位置の上記水平ラインは赤色であり、かつ上記正味持ち高の平均価格に対応する垂直位置の上記水平ラインは緑色ある。

20

【0015】

その他の実施例は、明細書に記載されるか、又は当業者には明白である。

【0016】

本発明は、RealTick及びTAL社の注文管理システムの環境下で説明されているが、当然ながら、本発明を任意の他の類似の注文入力ソフトウェア及び注文管理システムと組み合わせて使用できる。

30

【0017】

本発明の実施態様は、当業者には明白なコンピュータコンポーネント及びコンピュータ実行ステップを有する。開示を簡略化するために、本発明のステップ及び要素は、コンピュータシステムの一部として、そのすべてが明細書中に明確に記載されているとは限らない。しかしながら、各ステップ及び要素は、対応するコンピュータシステム及びソフトウェアコンポーネントを有してよく、かつ好ましくは有するということが、当業者には明白である。したがって、このようなコンピュータシステム及び/又はソフトウェアコンポーネントは、それらの対応するステップ又は要素(すなわち、それらの機能)を記載することによって実施可能であるとともに、本発明の範囲内にある。

40

【発明を実施するための最良の形態】

【0018】

本特許又は出願書類は、色付きで作成された少なくとも1つの図面を含む。色付き図面を備えたこの特許又は特許出願公開の写しは、我々のオフィスに申し出るとともに、必要な料金を支払うことによって入手できる。

【0019】

以下の記載は、本発明の少なくとも1つの実施形態のソフトウェア、ステップ、及びグラフィカルユーザインタフェースを説明する。

50

【 0 0 2 0 】

[チャートの作成]

チャートを作成するために、ユーザは、Real Tick デザインメニュー上の「Chart」項目をクリックする。図 2 を参照されたい。次に、ユーザは、チャート設定メニューのシンボルフィールド「Symbols」に 1 つ以上のシンボルを入力する。図 3 を参照されたい。また、ユーザは、データ期間フィールド「Data Period」に設けられたドロップダウンリストから所望のチャート種類を選択する。図 4 を参照されたい。

【 0 0 2 1 】

また、ユーザは、日付フィールド「Date」に日付を入力する。好ましくは、デフォルト値によって、日付フィールドには当日の日付が入力されている。図 5 を参照されたい。また、ユーザは、遡りたい日数を日数フィールド「Days」で指定する。図 6 を参照されたい。

10

【 0 0 2 2 】

日中 (Intraday) チャートを作成する場合、ユーザは、日中バー間隔フィールド「Bar Interval」に分単位の時間間隔の数値をタイプするか、又は矢印で値を増減する。図 7 を参照されたい。

【 0 0 2 3 】

ユーザは、当日のマーケットが開いてからのデータのみを表示するように、「Start Bars at Open」にチェックを入れる。図 8 を参照されたい。ユーザは、指定した時刻より前のデータの表示を除外するために、「Exclude Data Before」にチェックを入れる。図 9 を参照されたい。好ましくは、このボックスにチェックを入れると、「Start Bars at Open」が無効となる。

20

【 0 0 2 4 】

ユーザは、指定した時刻より後のデータの表示を除外するために、「Exclude Data After」にチェックを入れる。図 10 を参照されたい。ユーザは、マーケットオープン前及びクローズ後のデータ、及び最適な買い指値又は売り指値から離れて執行された取引のデータといったイレギュラーなデータを表示するように、「Include Irregular Trades」にチェックを入れる。図 11 を参照されたい。好ましくは、このオプションは、データ期間「Trades」、「Time & Sales」、「Tick Bar」、及び「Volume Bar」で利用可能である。

【 0 0 2 5 】

ユーザは、チャートタイトルフィールドに、チャートのタイトルを入力できる。デフォルト値によって、タイトルは、チャートに入力されたシンボルの会社名となる。図 12 を参照されたい。ワイルドカード記号としてアスタリスク (*) が付いていると、チャート中のシンボルが変更されたときに、タイトルの更新が行われる。

30

【 0 0 2 6 】

ユーザは、バーグラフ中にチャートデータを表示するように、「Bar Graph」のチェックボックスをクリックする。好ましくは、これは、「Intraday」、「Tick Bar」、「Volume Bar」、「Daily」、「Weekly」、及び「Monthly」の期間を利用可能である。図 13 を参照されたい。

【 0 0 2 7 】

ユーザは、ロウソク足インターバルチャートを表示するように、「CandleStick」のチェックボックスをクリックする。好ましくは、これは、「Bar Graph」がチェックされている場合のみ利用可能である。図 14 を参照されたい。

40

【 0 0 2 8 】

ユーザは、出来高バーグラフを表示するように、「Show Volume」のチェックボックスをクリックする。そして、OK をクリックして、チャートを表示する。図 15 を参照されたい。

【 0 0 2 9 】

表示されたチャート (図 16 参照) 上で、ユーザは、チャートメニューをクリックし、かつサブメニュー「Show Windows」から、「Show Order View」を選択して、チャートの

50

下部に注文入力画面を追加することができる。また、チャートメニューを使用する他にも、ユーザは、ファンクションキー F 7 を押すことによって、注文入力画面を表示できる。

【 0 0 3 0 】

[注文の発注]

図 1 7 は、標準的なレイアウトによる一実施形態の注文入力画面を示す。垂直軸は、価格を示すために用いられる。「値上がり (up)」バーは、緑色で示され、「値下がり (down)」バーは、赤色で示される。バー (又は「ロウソク足」) の上辺及び下辺は、当該期間に対する始値及び終値を示し、「ロウソクの芯 (wick)」が、当該期間に対する高値及び安値を示す。「値上がり」及び「値下がり」は、始値が終値よりも高いか否かで決まる (すなわち、「値上がり」とは、終値が始値よりも高かったということを意味する)。

10

【 0 0 3 1 】

アカウントがまだ選択されていなかった場合、又はユーザが選択されたアカウントの変更を望む場合、ユーザは、チャートメニューをクリックし、注文の発注を行う取引アカウントを指定するために、「Select Account」を選択する。図 1 8 を参照されたい。

【 0 0 3 2 】

また、好ましくは、ユーザは、表示をカスタマイズできる。例えば、図 1 9 は、「CandleStick」がチャート表示方法として選択されていることを示す。

【 0 0 3 3 】

注文入力画面では、ユーザは、発注する注文の残りのパラメータである、「Expiration」、「Acct Type」、「Volume」、「Price」、「Price Type」、「Route」、「Reserve Amt」(もし保留注文を発注するならば)、及び「Vol. Type」を設定する。好ましくは、これらのフィールドは、ユーザによって変更されない限り、1 つの注文から次の注文へと変更されずに引き継がれる。

20

【 0 0 3 4 】

注文を発注するために、ユーザは、チャートをクリックして、注文入力画面 (図 1 7 参照) 中の価格フィールド「Price」に価格を入力する。例えば、ユーザが 1 4 6 . 3 0 に等しい垂直レベル上の点で画面上をクリックすることによって、注文入力画面の価格ボックスに価格が仮入力される。図 1 8 を参照されたい。

【 0 0 3 5 】

ユーザは、「Buy」又は「Sell」ボタンをクリックして発注を行う。好ましくは、シンボルに対する目下のすべての注文が、「Cancel All」ボタンをクリックすることによって取り消し可能である。

30

【 0 0 3 6 】

[チャート内への注文の表示]

注文及びポジションが、現在チャートに表示されているシンボルに対して表示できる。ユーザは、チャートメニューをクリックし、サブメニュー「Display Attributes」から「Show Orders」を選択する。図 1 9 を参照されたい。「Show Orders」オプションは、注文を表示させないように、非選択とすることができるが、好ましくは、表示上の垂直位置でクリックすることによる注文価格の入力機能は、引き続き利用可能である。

【 0 0 3 7 】

40

チャートに表示可能な執行中の注文のタイプに制限はないが、好ましくは、指値ポジションのみが表示される。ポジションが解消されるか、又は注文が取り消されたならば、それは、チャートウィンドウに表示されなくなる。図 2 0 ないし図 2 4 は、チャートウィンドウに表示される執行中の注文及び指値ポジションのいくつかの実施例を示す。

【 0 0 3 8 】

図 2 0 は、執行中の注文である「LMT Buy 1000 LEH on route DEMO (デモルートでリーマンブラザーズ株を 1 0 0 0 株指値買い)」を示す。すぐ上の赤字のテキストに沿った赤色の水平ラインは、注文の内容 (すなわち、「Buy 1000 LEH at 142.00 on DEMO」) をユーザが素早く確認できるようにし、かつライン及びテキストの垂直位置が、ユーザの注文価格をそのまま表す。この赤色 (ユーザによって設定可能) が、当該注文が執行中である

50

ことを意味する。

【 0 0 3 9 】

図 2 1 は、ロングポジションである「1000 LEH bought at an average price of 142.797 (リーマンブラザーズ株を平均価格 1 4 2 . 7 9 7 で 1 0 0 0 株買っている)」を示す。緑色の水平ライン及び付随するテキストが、ポジションの内容(すなわち、「Long 1000 LEH」)をユーザに伝え、かつ平均価格が、テキストと、ラインの垂直位置との両方で伝わる。緑色(ユーザによって設定可能)が、これがポジション(この場合、約定済み注文)であることを意味する。好ましくは、すべてのポジションではなく、正味ポジションだけがこの方法で表示される。しかしながら、これは、ユーザの設定に従う。

【 0 0 4 0 】

図 2 2 は、ロングポジション及び執行中の注文である「2800 LEH bought at an average price of 142.676 with a live order of 200 shares remaining (リーマンブラザーズ株を平均価格 1 4 2 . 6 7 6 で 2 8 0 0 株買っており、執行中の買い注文が 2 0 0 株残っている)」を示す。注文の赤色は、注文が部分的に約定されたことを示す。

【 0 0 4 1 】

図 2 3 は、ストップ注文である、「Buy 1000 LEH on route DEMO (stop: 145.00) (デモルートでリーマンブラザーズ株をストップ価格を 1 4 5 . 0 0 に入れて 1 0 0 0 株買い)」を示す。図 2 4 は、ストップ - 指値注文である、「Buy 1000 LEH at 142.97 on route DEMO (stop: 143.00) (デモルートで、リーマンブラザーズ株をストップ価格を 1 4 5 . 0 0 に入れて指値 1 4 2 . 9 7 で 1 0 0 0 株買い)」を示す。

【 0 0 4 2 】

[注文の変更]

注文が執行中であっても、ユーザは、注文を変更するために、いくつかのオプションを利用できる。ユーザは、左クリックで注文を所望の(新しい)価格レベルへドラッグアンドドロップすることで、注文の変更を行うことが可能である。好ましくは、これを行うことは、ユーザが価格の変更だけを望むと見なされ、注文変更ダイアログボックスが立ち上がらない。

【 0 0 4 3 】

あるいは、ユーザは、注文を右クリックするとともに、「Change Order ...」を選択し、注文変更ダイアログボックスを立ち上げること、又は「Cancel Order」を選択し、ついで「Confirm Cancel」メッセージの確認を行うことができる。図 2 5 を参照されたい。

【 0 0 4 4 】

「Change Order ...」をクリックすることで、注文変更ダイアログボックスが立ち上がる。図 2 6 を参照されたい。ユーザは、「Yes」をクリックして変更を継続するか、又は「No」をクリックして変更を取り消す。図 2 7 を参照されたい。好ましくは、注文入力プロパティで確認機能を無効にしてあれば、変更及び取り消しは、ダイアログなしで完了する。

【 0 0 4 5 】

図 2 8 は、より正確な価格の決定に使用される一実施形態の照準ツールを示したスクリーンショットである。好ましくは、照準ツールは、チャート上をクリックし、かつマウスのボタンを押し込んだ状態を保持することによって起動される。カーソル位置が移動すると、表示上の垂直位置に従って、照準ツールの表示ボックスに表示される詳細な値付け情報が変化する。

【 0 0 4 6 】

図 2 9 は、マウスで線を引くことによって変更された執行中の注文を示す(白いラインが、マウスボタンを放したときに注文がなされる位置である)。好ましくは、カーソルは、注文が変更されているとき、上下の矢印に変化する(図示せず)。図 3 0 は、注文変更の結果を示す。

【 0 0 4 7 】

以上に記載された実施形態は、限定を意図したものではない。当業者は、図面及び詳細

10

20

30

40

50

な説明をレビューした後に、他の実施形態を考え付くであろう。

【0048】

本発明の実施形態は、当業者には明白なコンピュータコンポーネント及びコンピュータ実行ステップを有する。開示を簡略化するために、本発明のステップ及び要素は、コンピュータシステムの一部として、そのすべてが明細書中に記載されているとは限らない。しかしながら、各ステップ又は要素が対応するコンピュータシステム又はソフトウェアコンポーネントを有してよいということは、当業者には明白である。したがって、このようなコンピュータシステム及び/又はソフトウェアコンポーネントは、それらの対応するステップ又は要素(すなわち、それらの機能)を記載することによって実施可能であるとともに、本発明の範囲内にある。

10

【図面の簡単な説明】

【0049】

【図1】TAL社の取引システムを示す。

【図2】一実施形態のチャートデザインメニューを示す。

【図3】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図4】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図5】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図6】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図7】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図8】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

20

【図9】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図10】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図11】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図12】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図13】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図14】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図15】一実施形態のチャート設定インタフェースの画面を示す。

【図16】一実施形態の注文チャートを示す。

【図17】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

【図18】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

30

【図19】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

【図20】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

【図21】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

【図22】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

【図23】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

【図24】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

【図25】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

【図26】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

【図27】一実施形態の注文入力チャートの画面を示す。

【図28】一実施形態の照準ツールを示す。

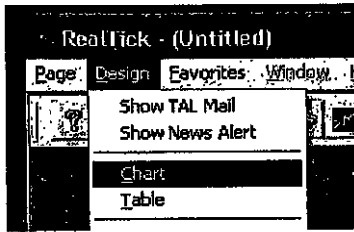
40

【図29】一実施形態において、どのようにして注文の変更が行われるかを図示する。

【図30】一実施形態において、どのようにして注文の変更が行われるかを図示する。

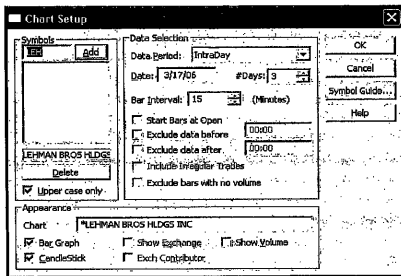
【 図 2 】

FIG. 2



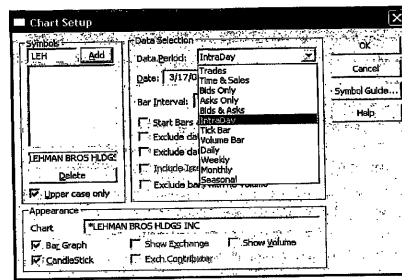
【 図 3 】

FIG. 3



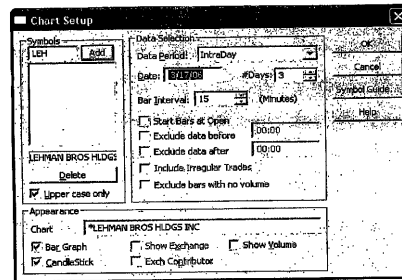
【 図 4 】

FIG. 4



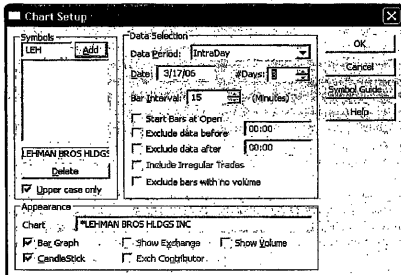
【 図 5 】

FIG. 5



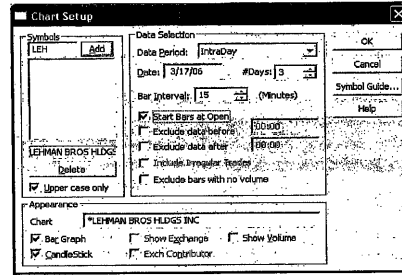
【 図 6 】

FIG. 6



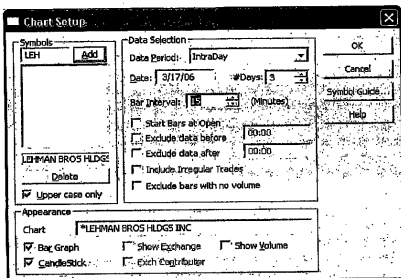
【 図 8 】

FIG. 8



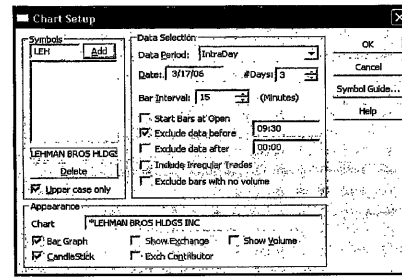
【 図 7 】

FIG. 7



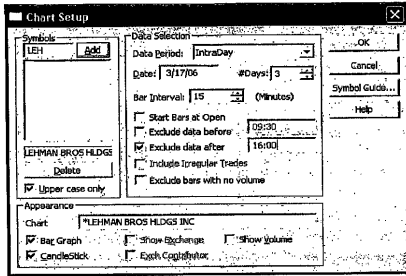
【 図 9 】

FIG. 9



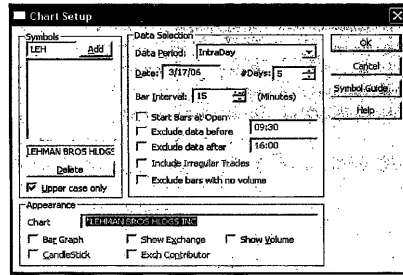
【 10】

FIG. 10



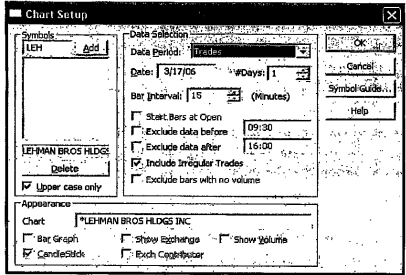
【 12】

FIG. 12



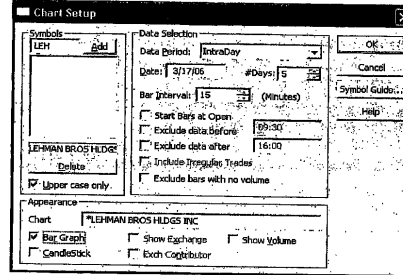
【 11】

FIG. 11



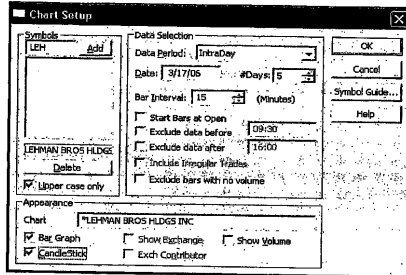
【 13】

FIG. 13



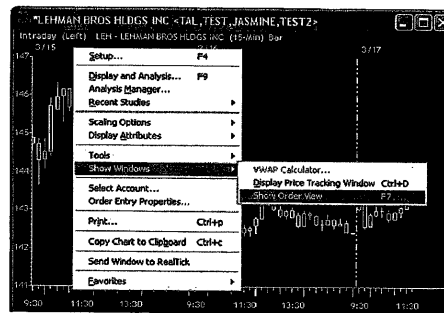
【 14】

FIG. 14



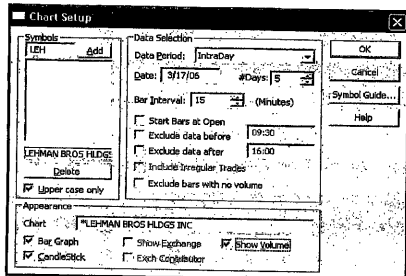
【 16】

FIG. 16



【 15】

FIG. 15



【 17】

FIG. 17

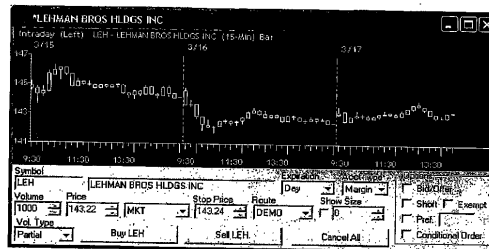


FIG. 18

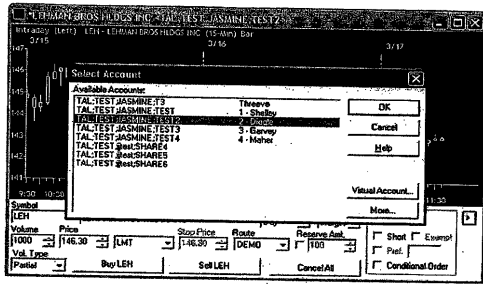


FIG. 19

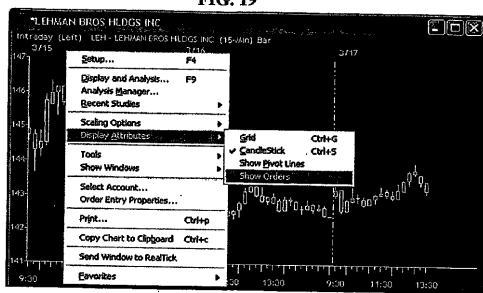


FIG. 22

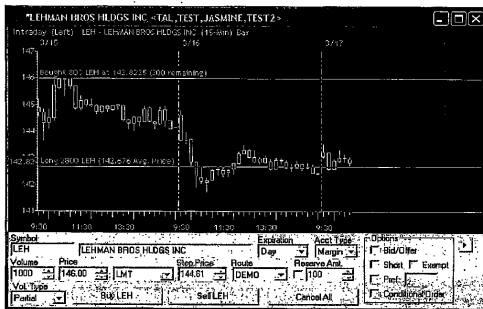


FIG. 23



FIG. 20

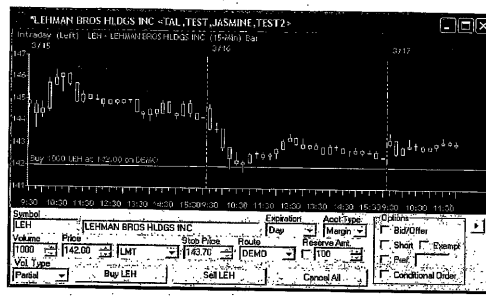


FIG. 21

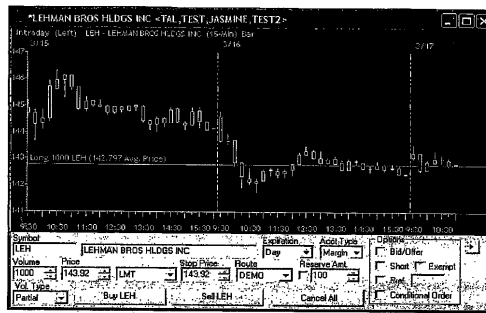


FIG. 24

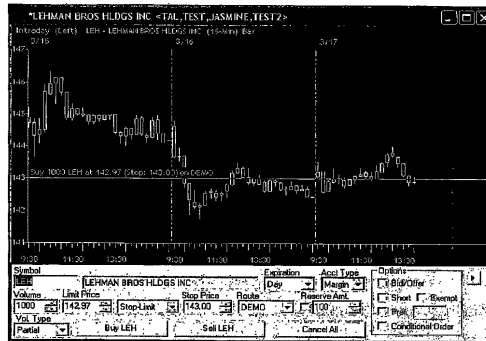
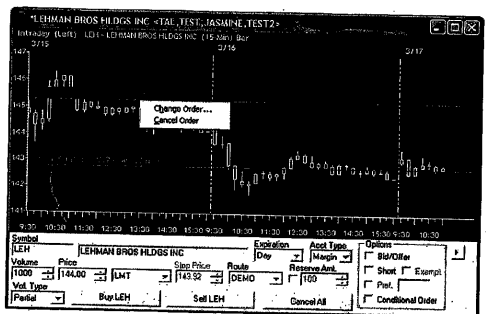


FIG. 25



【 26 】

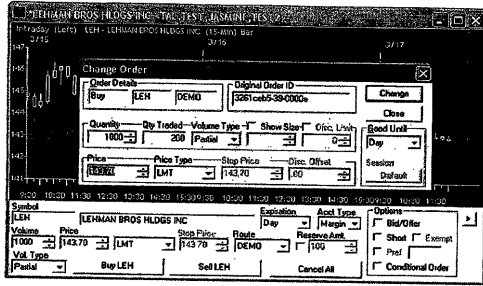


FIG. 26

【 27 】

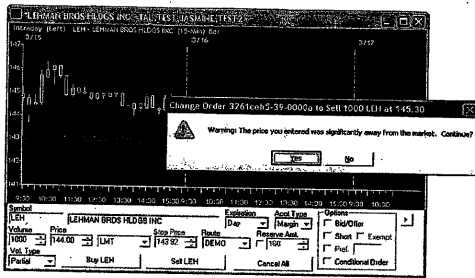
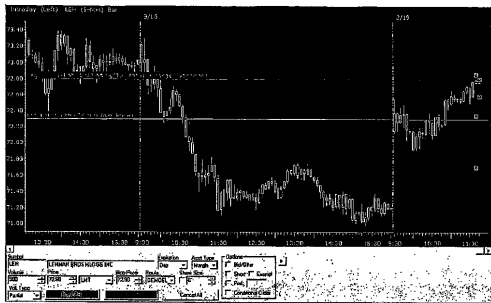


FIG. 27

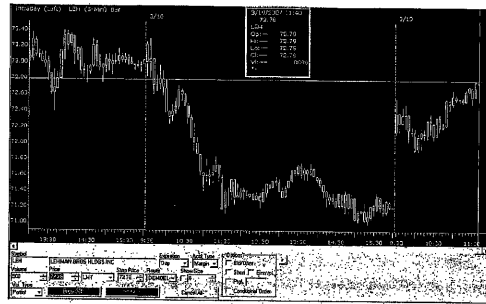
【 30 】

FIG. 30



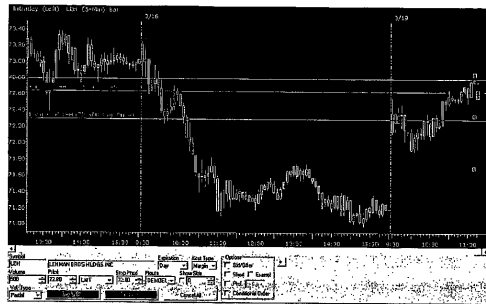
【 28 】

FIG. 28



【 29 】

FIG. 29



【図1】

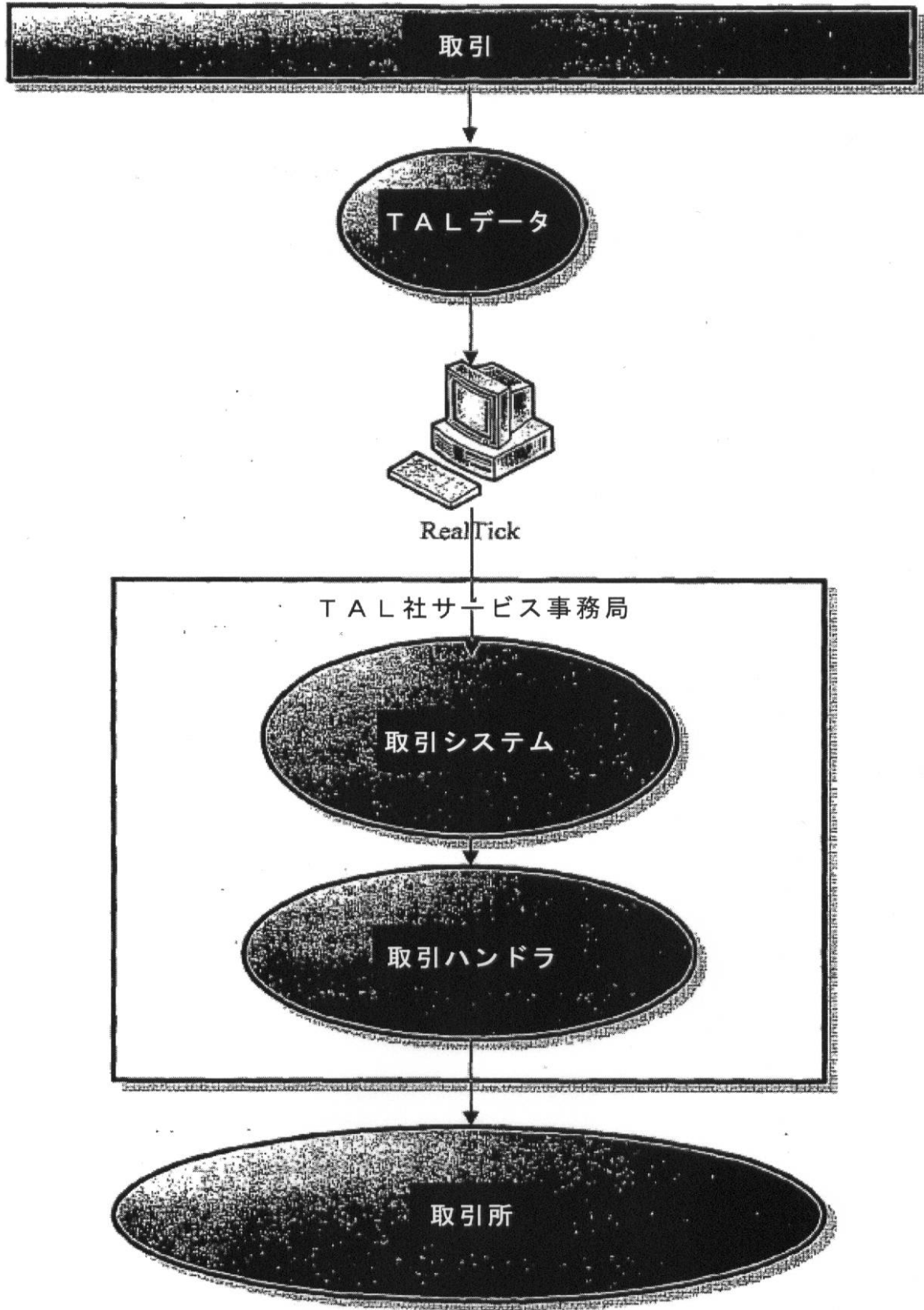


FIG. 1

フロントページの続き

- (72)発明者 スチュアート・タウンSEND
アメリカ合衆国・イリノイ・60649・シカゴ・イースト・セブンスターファースト・ストリート・2571
- (72)発明者 デレク・ランス・ゴーヴァー
アメリカ合衆国・イリノイ・60022・グレンコー・ヴァーノン・941
- (72)発明者 クリスティーナ・シオット
アメリカ合衆国・イリノイ・60622・シカゴ・ノース・ウォルコット・1022
- (72)発明者 アーサー・エー・ウォーハイド
アメリカ合衆国・ニューヨーク・10035・ニューヨーク・フィフス・アヴェニュー・2012

審査官 田付 徳雄

- (56)参考文献 国際公開第00/052619(WO, A1)
特開2005-063409(JP, A)
米国特許出願公開第2002/0120551(US, A1)
特開2005-100265(JP, A)
特表2002-541588(JP, A)
オリックス証券, オリックスFXデモ - トップ, 日本, 2006年 2月16日, URL, http://web.archive.org/web/20060216183328/http://www.orix-sec.co.jp/t_demo/fx_demo/c1.html
オリックス証券, オリックスFXデモ - 初期画面, 日本, 2006年 2月16日, URL, http://web.archive.org/web/20060216183334/http://www.orix-sec.co.jp/t_demo/fx_demo/c2.html
オリックス証券, オリックスFXデモ - その他注文画面 - チャートから発注, 日本, 2005年 12月 8日, URL, http://web.archive.org/web/20051208025616/http://www.orix-sec.co.jp/t_demo/fx_demo/c5_3.html
オリックス証券, オリックスFXデモ - 訂正・取消 - 注文訂正, 日本, 2006年 2月16日, URL, http://web.archive.org/web/20060216184055/http://www.orix-sec.co.jp/t_demo/fx_demo/c6_1.html

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q 10/00 - 50/34